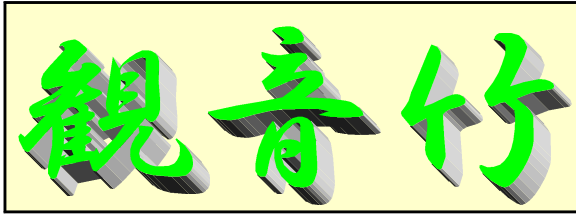


【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】



5月の目標

生活：正しく思いやりのある言葉づかいをしよう  
保健：健康の大切さを考えよう  
安全：安全に対する正しい知識を身につけよう

令和3年 5月号  
R3. 5. 6 発行

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

## みんなで八幡小の子どもたちを

校長 濱元 弘

爽やかに香る風に、気持ちがりフレッシュされていく感覚に包まれ心地よいです。ただ、気がかりなことは、新型コロナウイルス感染症の事です。感染症対策は、一人一人ができることを丁寧に進めていくことが大切だと思います。

さて、4月のPTA総会において、今年度の学校の取組を説明いたしました。次のフレーズが令和3年度の学校教育目標です。

「自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる」

これが、最終的に目指すゴールです。このような子どもたちを育てるために、八幡小全ての教育活動は進められます。それに伴い学校、子ども、教師は、次の姿を目指します。キーワードは、「対話」です。

学 校：子ども一人一人に寄り添い、夢実現に向け、対話があふれる学校

子ども：自分を見つめ、他者と対話し、学び続ける子ども

教 師：互いに立場を尊重し、何事にも真摯に向き合い、対話する教師

全ての学年・学級の授業やいろいろな行事等は、このゴールや姿を目指して取り組んでいきます。昨年と比べて、目標と思われるものをだいぶ減らしました。最終的にどこへ向かうのか、はっきりとわかりやすくすること、そして、どのように向かっていくのか、一人一人がしっかりと「考える」ことを大切にしていこうと決めたからです。最終的なゴールを目指し、「対話」と「考える」、そして、「楽しい」があふれる学校になっていくように、八幡小は取り組んでいきます。

今年度から、「全校支援体制」に取り組んでいます。全職員で全ての子どもたちに関わっていく体制です。これは、特別支援教育を全教育活動で進める取組の一つです。授業を中心に、担任だけでなく、学年・学級を越えて複数の教師が授業に、可能な限り協力していきます。

また、子どもの教育活動に、地域や保護者の方々から協力をいただこうとも考えています。「学校応援団」という取組です。既に、協力いただいている活動も含めて、学校応援団として整えていこうと考えています。よろしく願いいたします。

学校だけでなく、地域・保護者の皆様とともに一緒に考えながら、対話しながら、八幡小の子どもたちを育てていきましょう。子どもも保護者も地域も教師も楽しいを感じられるように。



学校のサツマイモ畑の畝を、作っていただきました。

楽しい～《充足感が味わえるものとして、その状態を積極的に受け入れたい、出来ることならそれを持続したい気持ちだ。》

(新明解国語辞典 第七版 三省堂)